

科目名		教育の方法と技術
担当教員		向山 陽子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>1、幼児期の特性と幼稚園教育の役割について理解することを目的とします。</p> <p>2、これからの社会を担う子ども達に求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を習得することを目的とします。</p> <p>幼稚園教育の下記の基本①～⑤の理解、とりわけ、小学校とは異なる幼児期にふさわしい教育の方法について学び理解します。</p> <p>① 人格形成の基礎を培うこと</p> <p>② 環境を通して行う教育</p> <p>③ 幼児期にふさわしい生活の展開・遊びを通しての総合的な指導・一人一人の発達 の特性に応じた指導</p> <p>④ 計画的な環境の構成と再構成</p> <p>⑤ 教師の役割</p> <p>3、幼児期にふさわしい教育方法による幼稚園生活を積み重ねる中で、幼児期の子どもに“育みたい資質・能力”及び“幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿”について理解することを目的とします。また、子どもの育ちを、具体的な子どもの姿で表記し、小学校との接続に生かすことができるようにします。</p> <p>4、幼児一人一人のよさや可能性を把握するなどの幼児理解に基づいた評価の実施について理解し、自身または勤務園の課題を示すことを習得することを目的とします。</p> <p>5、幼児期にふさわしい教育方法による幼稚園生活での情報機器の活用について考察し、実践事例を参考に実践の具体的イメージを持つ事ができるようにすることを目的とします。</p>
	テキストの概要	<p>テキスト1、文部科学省『幼稚園教育要領解説』を軸に学修します。〈平成29年告示〉幼稚園教育要領の解説書となります。</p> <p>テキスト2、『幼児教育の方法』は、初版(2009年)から第10刷(2016年)を重ねています。幼児期にふさわしい教育の方法等、関連項目に付して、より深い理解を得るための補助テキストとして使用します。</p> <p>学修の範囲：</p> <p>テキスト1</p> <p>I：序章</p> <p>第1節 幼稚園教育要領の改訂の基本的な考え方</p> <p>第2節 幼児期の特性と幼稚園教育の役割</p> <p>II：第1章 総説</p> <p>第1節 幼稚園教育の基本</p> <p>〈テキスト2：第1, 2, 3章 「環境を通しての教育」「遊びを通しての指導」という方法的基盤について</p> <p>III：第1章 総説</p>

2020 武蔵野大学 通信教育部 幼免上進シラバス

		<p>第2節 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」</p> <p>〈テキスト2：Ⅲ：第6章 幼児期の教育と小学校の教育の連関</p> <p>Ⅳ：第1章 総説 第4節4 幼児理解に基づいた評価の実施</p> <p>〈テキスト2：Ⅳ：第5章 保育における評価</p> <p>第8章 カウンセリングマインドを鍵概念として、子どもの育ちと保護者への支援</p> <p>Ⅴ：第1章 総説</p> <p>第4節3(6) 情報機器の活用</p> <p>〈テキスト1：序章 第1節2-(2)・2本の論文を資料として学修します。</p>
<p>授業計画</p>		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p>〈自宅学習〉</p> <p>Ⅰ：序章 第1節 改訂の基本的な考え方</p> <p>第2節 幼児期の特性と幼稚園教育の役割</p> <p>Ⅱ：第1章 総説 第1節 幼稚園教育の基本</p> <p>Ⅲ：第1章 総説 第2節 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」</p> <p>Ⅳ：第1章 総説 第4節 4 幼児理解に基づいた評価の実施 p.121～123</p> <p>Ⅴ：第1章 総説 第4節 3(6) 情報機器の活用 p.115</p>
<p>成績評価の方法</p>		<p>単位認定試験</p>
<p>備考</p>		